

堺で「人と仕事をつなぐ企業の集い」



障害のある生徒の実習を見学する
企業の人事担当者ら

企業の人事担当者らが障害のある生徒の取り組みに触れる「人と仕事をつなぐ企業の集い」(府など主催)が27日、堺市堺区の府立だいせん聴覚高等支援学校(亀平福一校長)で開かれた。府内に事業所を置く250社の280人が参加。同校のほか、府内の高等支援学校5校に通う生徒たちが職業訓練で培った技術を披露した。

集いは、実社会に触れ、技術向上を図る職場実習先

——増え雇用される生徒の障害 訓練の成果披露

を開拓するのが狙い。だいせんの子供たちは、ホームページの作成や旋盤による歯車の製作を演じた。専攻科2年の吉田恵理香さん(20)は「私たちも働けるということを伝えられた」と満足そうだった。

参加したクボタの特例子会社「クボタワークス」(大阪市浪速区)の小頭芳明・代表取締役は「手作りのアピールに熱意が伝わってきた。こうした催しが増えれば、障害者の雇用が増えるのではないか」と話していた。

【平川哲也】